

5月27日から始まった兵庫県高等学校陸上競技対校選手権大会を見に行ってきました。昨年は新型コロナのため選手監督以外

は入場制限があり行けなかったのですが、今年は保護者も入れて有観客での大会となりましたので、3日間自分自身の専門でもある陸上競技を楽しませてもらいました。

第1日目最初の決勝種目は男子棒高跳。本校からは3名が出場。3人共がベスト記録を更新し、2位・4位・5位に入賞。幸先の

良いスタートを切りました。その後ハンマー投では、山口選手は昨年の記録を上回り優勝。3年伊藤選手が大幅なベスト記録を出し2位入賞。2年笹倉選手も6位入賞を果たし、ここまでフィールド競技に出場した選手全員が近畿大会出場をきめるという総合優勝を奪還するためにも最高の雰囲気になりました。大会期間中の流れを左右するのはこういった自己新を出して次のラウンドに進む選手が多くなるということです。うまくいかないとき、流れの悪いときにはどうすれば良いか……。自分自身がやってきたことを信じることに、今まで関わってくれた人のことを思って感謝の気持ちを持ち、謙虚に試合に臨むことしかありません。起死回生の一発も心技体が整えば出せるチャンスも多くなりますので、気持ちを整えて、焦らず集中することで克服していかなければならないと思います。そういった雰囲気の中で、走幅跳では

3人が決勝に進出。写真の小屋敷選手は、予選をギリギリ通過し、決勝も3回目で自己新を跳んで4回目以降跳躍のできるベスト8に進出。思い切っていくしかない5回目に有観客の利点を活かし手拍子を要求。会場全体の盛り上がりも味方して大幅な自己新で近畿出場圏内に入り、そのまま競技終了。7mを跳んだ1年生長谷川選手と共に近畿出場を決めました。同時進行の砲丸投では、山口選手が大幅な自己新で2位入賞。2年須田選手は練習投擲では優勝記録を超える投擲を見せていましたが、記録を伸ばせず3位に。近畿大会での爆発に期待です。さらにその後の110mHにも3選手が出場、3年酒井選手が3位に、2年蓮香選手が6位に入賞。西田選手は7位と残念でしたが、リレーでの雪辱を期し、初日を終了。総合得点では66点という大爆発を見せてくれました。

2日目は、打って変わって苦しい展開に。3年酒井選手は昨年全国インターハイに出場した400mHに2年連続出場をかけて出場しましたが、直前の体調不良からの練習不足が響き敗退という厳しいスタート。8種競技の三和選手は初日から流れに乗れず、すべての種目で東播大会を下回る記録で3位。優勝を狙っていただけに残念でしたが、近畿大会でのリベンジに期待です(写真左)。

走高跳は2選手が決勝に進み、1年神崎選手が5位、2年小島選手が3位に入賞。4×100mリレーは、ライバル滝川第二高校に逆転され2位に。2走を走った藤原選手(写真右)は200mでも4位に入りました。

3日目は、フィールド競技では、三段跳と円盤投が行われ、2年藤本選手が自己記録を塗り替え2位入賞。3年田中選手は力を出し切れず8位となりました。円盤投の山口選手は大会記録を1投目に更新して優勝。2年連続2種目優勝に加え、砲丸投でも全国を狙います。トラックでは100mがあり、ここまで好調を



持続してきた藤原選手が惜しくも2位に。安富選手は終盤追い上げましたが8位と近畿に届かず残念でした。そして、最終の4×400mリレーでは上級生の故障もあり、オール1年生で予選、準決勝を勝ち上がり決勝に残りました。最後の最後までスタンドを沸かせましたが、惜しくも近畿大会に届かず7位に。それでも入学して2ヶ月で十分な練習もできていない状況で素晴らしいタイムをたたき出し、今後の活躍と成長に期待を抱かせてくれました。



3年ぶり10回目の総合優勝に輝きました。平野先生が優勝監督賞をいただきました。最後は部旗の掲揚です。総合2位の学校とはダブルス

コアの圧勝でしたが、優勝にあと一步届かなかった種目も多かっただけに近畿大会での活躍に期待です。徳島で行われる全国大会出場目指して頑張ってください。お疲れ様でした。

久しぶりに陸上競技の県総体を見させていただき、改めて高校生の力と応援の力を感しました。新規感染者は減少傾向で、外国人観光客の受け入れも始まるなど少しずつコロナの前の状況に戻りつつあります。一人ひとりの感染防止対策が意識されるようになり、マスク着用も熱中症対策と絡めて制限の緩和がされました。保護者の方々も多数お見えになり、選手たちの活躍を目の当たりにしていただけて良かったと思います。また、非常に天気も良く暑いくらいでしたので、審判の先生方のご協力、会場の準備など関係の皆様には本当に感謝の気持ちで一杯になりました。ありがとうございました。

そして、同時に開催された他競技では、男女ソフトテニス、3年生ペアが個人戦に出場。女子は強豪校相手に敗戦しましたが、男子は悔しいことに近畿大会出場にあと一步というところで敗戦。バドミントン男子団体がライバル村野工業の連覇を阻めず2位。女子はベスト8に入りました。まだ個人での戦いが残っているようなので、厳しい戦いが予想されますが、持てる力を発揮して頑張ってください。また、ソフトボール女子は2回戦で勝利を収め3回戦に進出。バレーボール男女はベスト16に勝ち上がり近畿大会出場を決めました。今週末も柔道、卓球の県総体が始まります。バドミントンは三田駒ヶ谷体育館、ソフトボール女子は但馬ドーム、バレーボール男子は加古川市立総合体育館、バレーボール女子は三木山総合公園体育館、柔道は高砂総合体育館、卓球は姫路市総合体育館で行われます。また、先ほど紹介した陸上競技部は6月16日から19日にかけて奈良県鴻池陸上競技場で行われる近畿大会に出場します。皆様のご声援をお願いいたします。

5月28日、29日と社中央公園ステラパークで行われた花と緑のまつりに生活科学科が出店。さらに生活科学科3年女子サッカー部のメンバーは、やしろショッピングパーク Bio 前の田植え前の田んぼで行われたどろんこサッカーにボランティアで参加。クッキーやパウンドケーキ等新商品も含めて販売したそうです。岩根加東市長も買って行かれたそうです(写真左)。どろんこサッカーはまさしくドロドロになって田んぼでボールを蹴るのですが、最終的には生徒たちも田んぼに入ってしまったそうです(写真右)。子供たちと一緒に楽しめたようです。お疲れ様でした。



5月30日には体育科2年の授業に特別非常勤講師の濱田先生が来られ、ストレッチ体操からの体幹トレーニングを教えてくださいました。8回の授業でテストをしながら理論を深め、最終的には中学生に指導できるようになることを目標としているとのことでした。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは感染防止対策、熱中症対策を個人でしっかりとっていきましょう。

